

【主題名】 いじめのない世界へ 内容項目 「A-(1) 自主, 自律, 自由と責任」

【教材名】 あの子のランドセル (東京書籍 新しい道徳2)

<あらすじ> 小学校に入ってすぐいじめをした主人公。友達と一緒に、「あの子」のランドセルに傷を付けた。中学になってランドセルを見なくなりほっとするが、心の中は、なかなか晴れない。

【ねらい】



内容項目の理解

自主, 自律, 自由と責任の中で, 責任という道徳的価値について指導する。



児童生徒の実態把握

善悪の判断はできているが, 自分の責任を追求されると, 「みんながやってるから」「〇〇がやれと言ったから」と他に責任転嫁をすることが見られる。



本時のねらいを設定する

判断力

心情

実践意欲

態度

過去の自分の行動に心を痛める主人公の気持ちに寄り添い, 自分の行動に責任を持つとする道徳的態度を育てる。

【指導の流れ】

段階	主な学習活動 ○主な発問 (◎中心発問)	考え議論する道徳ポイント集
導入	<p>1 主題に関わる問題意識を持つ。</p> <p>○ 無責任で勝手な言動とは, どのような言動ですか。</p> <p>2 課題をつかむ。</p> <p>自分の言動に責任を持つことについて考えよう。</p>	導入の工夫
展開	<p>3 教材の内容を把握し, 登場人物の気持ちについて話し合う。</p> <p>○ あの子のランドセルに傷を付けていたとき, 主人公はどのような気持ちだったのでしょうか。</p> <p>○ 中学になってほっとした主人公が, 「だけど, やっぱりだめだった」と感じたのはどうしてでしょうか。</p> <p>4 自分の言動に責任を持つことについて考える。</p> <p>○ 小学校に入学する妹を見て, 主人公は, どのようなことに気付いたのでしょうか。</p> <p>◎ 今後, 主人公は, どのような生き方をしていくと思いますか。</p>	<p>展開の工夫</p> <p>多面的・多角的</p>
終末	<p>5 自己の生き方についての考えを深める。</p> <p>○ 今日の授業で感じたこと, これからの自分に生かしていきたいことを書きましょう。</p>	終末の工夫

【板書計画】

第〇回 道徳

自分の言動に責任を持つことについて考えよう

あの子のランドセル

小学校

「おもしろ半分」

- ・みんなもやっている
- ・断れない
- ・ストレス発散
- ・おもしろい

中学校

「ほっとした」「やっぱりだめだった」

- ・反省している
- ・後悔している
- ・心に引っかかって前に進めない
- ・あの子はどう思っているか

妹のランドセル

- ・あの子も家族に愛されていた
- ・取り返しのつかないことをした

生き方

他人の心の痛みが分かる  
自分の行動に責任を持つ  
後のことを考えて行動する

【評価】

自分の言動に責任を持つことについて, 自我関与中心の学習を通して, 主体的に考えようとしていたか。